

学校基本方針
医療人としての豊かな人間性と社会性を涵養し、専門職としての高度な知識や技術を習得した歯科衛生士を養成する。
学校教育目標
① 専門的な医学知識を身に付け、高度化する医療技術や高齢化社会に対応できる能力を養う ② 学問的裏付けによる問題解決能力とそれを応用できる創造性を養う ③ コミュニケーションスキルやホスピタリティマナーを身に付け、豊かな人間性と社会性を育む ④ 専門職としての自覚を持ち生涯学ぶ努力をする歯科衛生士
本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
① カリキュラムの充実を図り有能な人材を養成する ② 国家試験100%合格、就職率100%による地域医療への貢献 ③ 歯科衛生士を目指す自覚を持ち時間厳守、学則厳守し自己管理に努める ④ 充実した学生生活のために心理的ケアも含めた健康管理を支援する ⑤ 人材確保のために適切な情報の提供に努める。

評価項目の達成及び取組状況

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0
学校における職業教育の特色は何か	3.6
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.3
各学科の教育目標、人材育成像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.6

【課題】

- ・将来の進学適齢者の減少に対する具体的な構想ができていない。
- ・学校の理念や目的、育成人材像が直接関わる学生に周知できていても、保護者や外部の方に周知できているか不確かである。
- ・学校の将来構想を考えていかなければならない。

【今後の改善策】

- ・教務・運営委員会などの機会を利用して検討し将来構想を作っていく。
- ・学校の理念や育成について、今後積極的に周知をし、ご理解頂けるよう働きかける。
- ・業界及び社会の今後の方向性を予測し、それに合わせた将来構想を考えていく。

(2) 学校運営

評価項目	評価
目的などに沿った運営方針が策定されているか	3.8
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.6
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.0
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.1
業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	3.1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.0

【課題】

- ・教員の人材確保が課題である。
- ・情報システム化による業務の効率化についてさらなる検討が必要。
- ・学校運営に関する課題は、学生と学校関係者の人員不足。

【今後の改善策】

- ・より良い学校運営を目指し更なる努力を続けていく。
- ・キャリアのある歯科衛生士を確保するため、業界の状況に見合った魅力ある規定が必要である。
- ・業務内容に合わせた情報システム化を推進し、さらなる効率化を図る。
- ・学生募集や、学校のPR方法の改善、待遇改善を行う。

(3) 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.5
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.8
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.5
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.5
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.5
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3.6
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.9
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.9
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	2.8
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.9
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.0

【課題】

- ・講義・実習・募集などの仕事に忙殺され、教職員研修の時間を取れない。
- ・必要とされる人材の育成。
- ・教員の人材不足により、教育現場以外の研修などの取組がなされていない。
- ・専任教員不足。
- ・外部関係者による評価体制の構築。

【今後の改善策】

- ・適切な人員確保を行い、教職員の資質の向上に資する業務体制を構築する。
- ・常に教育内容を確認し、新しい情報を取り入れていく。
- ・専任教員確保のための取組強化。
- ・これまでと同じ募集体制ではないやり方を行う。
- ・客観的評価ができるステークホルダーとしての外部関係者の起用を考えていく必要がある。

(4) 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4.0
・資格取得率の向上が図られているか	4.0
・退学率の低減が図られているか	3.5
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.6
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2.9

【課題】

- ・卒業後の社会活動やキャリア形成の状況について把握できていない。
- ・県内就職の定着。
- ・卒後の把握不足。
- ・退学について。
- ・卒後の進路やその後の状況を把握しきれない部分がある。
- ・卒業生のその後の情報を把握しきれない。

【今後の改善策】

- ・新たなネットワークを作り、卒業生の動向を把握できるように検討する。
- ・卒業フォローアップ事業を定着させ、活かしていく。
- ・現在、卒後の支援を始めているため、今後積極的に情報を集め把握していきたい。
- ・入試の段階で、成績や他事情をふまえ、勇気ある選抜を行う。
- ・卒業生への情報提供、情報把握の方策を検討し、卒後の状況の把握に努めていきたい。

(5) 学生支援

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8
・学生相談に関する体制は整備されているか	3.6
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.3
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.9
・学生の生活環境への支援は行われているか	3.0
・保護者と適切に連携しているか	3.1
・卒業生への支援体制はあるか	2.8
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.9

【課題】

- ・学生の課外活動の支援や卒業生への支援体制はない。高校等への職業教育は受け身である。
- ・学生の生活環境の把握。
- ・卒後の支援体制が確立できていない。
- ・高校等との連携の場がない。
- ・高校・高等専修学校等との連携。
- ・卒業生との連携不足。

【今後の改善策】

- ・卒業生への支援については、早期離職防止、復職支援事業の中で考えていく。
- ・生活環境は様々だが、何を必要としているかを把握し、保護者と連携して対応できるところは検討していく。
- ・卒後については、今年度より支援体制が確立されたため、今後へつなげ、よりいいものへできるよう協力したい。
- ・高校との連携については、学校だけで無く、歯科医師会の先生方へ歯科検診の際にDHの職業紹介をお願いしたい。
- ・歯科衛生士という職業の認知度をさらにあげるべく方策を考え、担当者へのアプローチをしていく。
- ・お互いの情報収集や相談等ができるシステムの構築。

(6) 教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.1
・防災に対する体制は整備されているか	3.4

【課題】

- ・概ね達成している。
- ・インターンシップの整備。

【今後の改善策】

- ・さらなる充実を目指して、不足している点があれば補完していく補完していく。
- ・概ね良好だが、インターンシップの整備を図りたい。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3.5
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4
・学納金は妥当なものとなっているか	3.8

【課題】

- ・学校説明会への参加は増えてきたが、入学まで至っていない。
- ・学生募集・広報担当者がいない。
- ・学生募集活動の手法は適正だが、人員が不足している。
- ・学生募集経験者の入学の数が毎年一定では無いこと。

【今後の改善策】

- ・一日体験入学者が入学へ向かうよう対策を考えていきたい。
- ・学生募集活動を専任教員のみで行っているため、ガイダンスや説明会へ対応できないことがあるため、担当者が必要である。
- ・可能な範囲で学生募集に掛ける人員の拡充を図りたい。
- ・学生募集の手法において改善点をみつけ向上を図る。

(8) 財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.5
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.4
・財務について会計監査が適正に行われているか	3.6
・財務情報公開の体制整備はできているか	3.5

【課題】

- ・入学者数の減少が続いているので、財政に余裕がない。
- ・財務状況の改善が必要。

【今後の改善策】

- ・効率的で無駄のない学校運営を心掛ける。
- ・入学者の確保が必須である。
- ・本会と連携しながらの財務計画を策定していく。
- ・県歯科医師会と連携し、財務計画を練り直す。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.9
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.4
・自己評価結果を公開しているか	3.9

【課題】

- ・自己評価取り組み経験が浅く、事業改善まで至っていない。
- ・問題点の改善方法についてさらなる検討が必要。
- ・概ね良好と思われる。

【今後の改善策】

- ・取り組みやすい改善策から始めていき結果を出す。
- ・関係者で協議し、さらなる改善を図っていく。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2.8

【課題】

- ・具体的な社会貢献、地域貢献に取り組む余裕がない。
- ・学外の方への貢献。
- ・ボランティア活動の支援。

【今後の改善策】

- ・機会があれば本校で小さいことでもいいので取り組んでいく。
- ・卒業フォローなどを通して社会貢献を行う。
- ・ボランティア活動について奨励はしているが、支援についても進めていく。
- ・ボランティア活動や社会貢献はもっと積極的に支援していく。